

積極的な検診受診でがんを早期発見

現在国民の2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで亡くなっています。そのリスクを抑えるには何より定期的な検診受診が効果的。「がん検診企業アクション」は職域における受診率向上を目指すプロジェクトです。その一環として、がん検診の大切さと先進的な企業の取り組みを紹介する「がん検診企業アクション京都セミナー」が京都工場保健会の協力のもと、開催されました。

◎早期発見ならがんはなおる病気

基調講演では東京大学医学部附属病院の中川恵一准教授（放射線科）が、欧米では高い検診受診率によって早期発見が進み、がんによる死亡が減少に転じる一方で、日本の受診率は20〜30%で死亡者も増加傾向にある現状を紹介。今やがんは早期発見できれば約90%は完治でき、また早期発見とは症状が出る前の状態Ⅱが検診によってしか見つからない、と積極的な検診の大切さを訴えました。

また女性の社会進出と定年延長により、女性特有のがんや、高齢期にリスクが高まるがんなどの早期発見のためには職域での

検診の重要性が高まると指摘。がんという病気の全体像を理解して、年齢、性別に応じて検診を受けるよう、呼びかけました。

◎拡がる企業での取り組み

また、ともに検診受診率向上を目指す推進パートナー講演として、ワコールホールディングスIR広報室・CSR担当の後呂氏が、同社が実施してきた乳がんの啓発、検診推進、術後サポートを行う「プレストケア」の活動や、社内の受診率向上の取り組みなどを紹介。

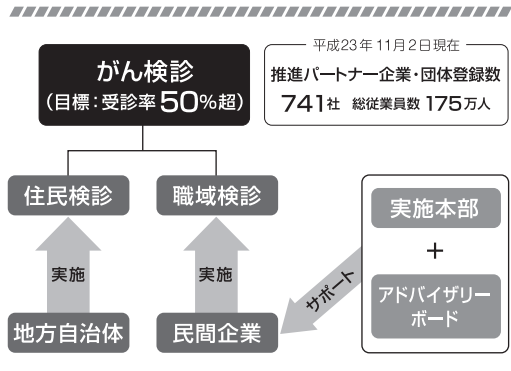
女性向けインナーを主力事業とする同



がん検診の重要性を訴える中川恵一准教授

////// がん検診企業アクションとは //////////////

がん検診企業アクションは「企業の貴重な人材」をがんによって失うリスクを軽減するために従業員と家族の「がん検診受診」を推進していく国家プロジェクトです。



企画・制作＝京都新聞COM

主催：がん検診企業アクション事務局（厚生労働省委託事業 がん検診受診促進企業連携推進事業）
 後援：健康保険組合連合会／全国健康保険協会／京都新聞社／全国地方新聞社連合会／公益財団法人
 日本対がん協会／社団法人 日本放射線技師会
 協力：財団法人 京都工場保健会

詳しくはホームページをご覧ください。
www.gankenshin50.go.jp/

がん検診企業アクション 検索